

日本食品衛生協会から表彰

埼玉県大宮市で開催された、公益社団法人日本食品衛生協会第32回関東甲信越ブロック大会にて、長年の食品衛生行政に協力し、業界の指導育成等に貢献した功績が認められた、田中茂夫さんが「厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰」を受賞されました。



田中 茂夫さん(宮内)

100歳のお祝品を贈呈

令和4年度中に100歳を迎える方へ、内閣総理大臣からのお祝い状と銀杯、町からお祝品を贈呈し、ご長寿をお祝いしました。

なお、今年度町内で100歳を迎える方々は、9月1日現在で9名です。みなさん、100歳おめでとうございます。



今年度100歳を迎える 齊藤 初さん(橋場)

総武中央ライオンズクラブと光ライオンズクラブからベンチの寄付

9月13日、総武中央ライオンズクラブと光ライオンズクラブから、高速バスを利用される方々のために、横芝光ICバス停留所待合所内にベンチの寄附を頂きました。パーク&バスライドの利用がより快適になりました。ありがとうございました。



町内小中学校の給食へ新米を寄附

水稲新品種「粒すけ」を寄附

10月3日、ちばみどり農業協同組合から、水稲新品種「粒すけ」300kgが寄附されました。

「粒すけ」は、県が平成17年から13年かけて開発した新品種で、茎が短く長雨や強風でも倒れにくく、多くの収穫量が見込めるお米で、大粒で程よい粘り気と弾力があり、食感が良いことが特徴です。

いただいた「粒すけ」は、10月6日と7日に学校給食で子ども達に提供され、美味しく頂きました。



町内産「コシヒカリ」を寄附

9月6日に町農業振興会営農集団部会から、町内産コシヒカリの新米3俵が寄附されました。

新米のコシヒカリは9月9日に学校給食で提供され、子ども達が味わいました。

農業後継者が少なくなっており、お米の消費量が減るなど、お米作りも大変になっています。

新米を食べた子ども達の中から、将来、農業の担い手が誕生することを農業振興会のみなさんも楽しみにしています。

